

西上小だより



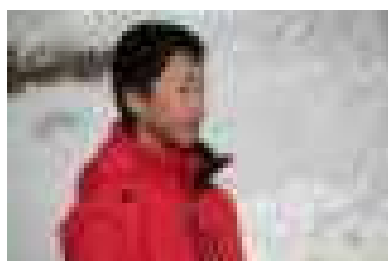
学校教育目標

- 明るく元気な子
- よく考える子
- 仲良くがんばる子

平成30年2月15日(木)
士幌町立西上音更小学校
校長 川上 裕明

最高のスケート記録会

2月1日のスケート記録会は、青い空と最高のリンクコンディションで行われました。



保護者のみなさんや青年部のみなさんのおかげで、みごとに真っ平らなリンク。記録会の当日は、教頭先生が早朝から散水してピカピカの状態を迎えてくれました。

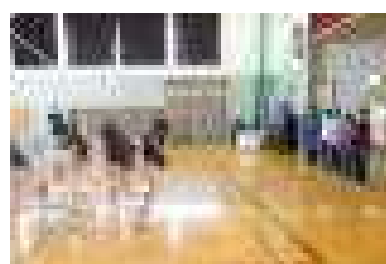
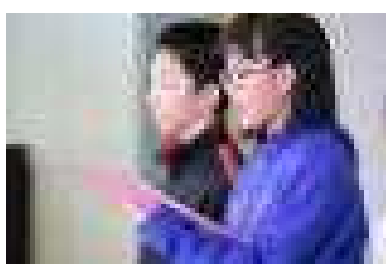
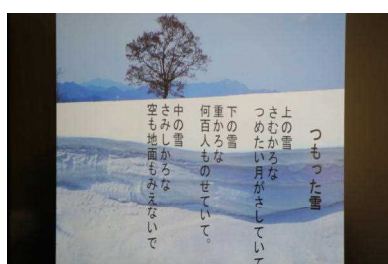
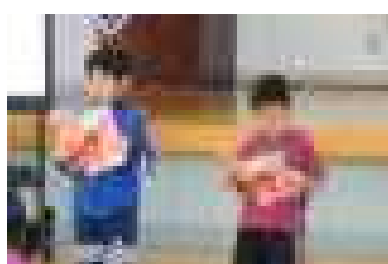
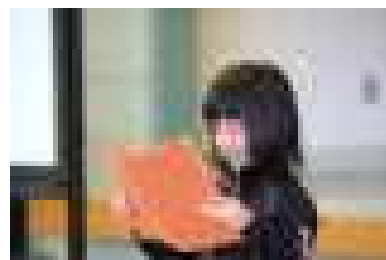
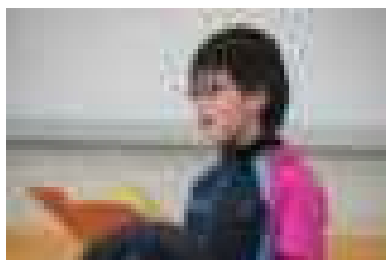
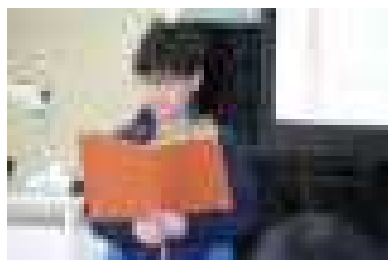
年末の造成から始まって、雪が降るたびの除雪、毎晩の維持散水など、みなさんへの感謝の気持ちを、かっぱいのスケートでお返しできたのではないかと思います。

スケートの授業は終わりましたが、リンクではなにやら高学年がカーリング(!)の企画中。まるで「鍋物の残った汁を雑炊にして食べ尽くそう」というかのような発想に、びっくりするやらうれしいやらです。

朗読発表会～祖父母参観

スケート記録会に続いて、午後からは体育館で朗読発表会を行いました。

朗読発表会は保護者の方や祖父母のみなさんにも、たくさんご来場いただきました。



各学級ごとに工夫を凝らした発表でしたが、何より練習を重ねた朗読が素晴らしかったです。言葉の一つ一つに込められた思いが伝わってきました。

数日前に導入された新兵器「65V型タッチディスプレイ」も大活躍でした。

◇◇校長室から◇◇ 「教学半（教えるは学ぶの半ばなり）」

学校の先生には、常に研修を続ける義務があります。

教育公務員特例法には、「教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。（第21条）」とあります。西上音更小学校の先生方も、自分で本や資料を使って勉強したり、校外の研究会に参加したり、校内で先生方同士の授業参観を行ったり、放課後に話し合いや勉強会をもったりします。

今年度のテーマは「自分の考えをもち、伝え合い、高め合う子どもの育成～算数科（複式）における伝え合い活動の工夫を通して～」担当の〇〇先生を中心に、「授業の進め方は……」「少ない人数での話し合い活動は……」「黒板の構成は……」など、研究してきました。

社会にいろんなプロフェッショナルがいるように、先生方は「小学生を教えるプロ」ですから、研究の中味もすごいです。授業を見ても、私（＝校長）などよりみんなずっと話し方が上手で、児童の心をつかんで、1時間でしっかり成長させてくれます。そんなプロの先生方の1年間の研究終盤に、このようなこととお話ししました。

～つづく～

